

数年に1度流行する感染症

①麻しん

【概要】

- 麻しんウイルスによる感染症。「はしか」とも呼ばれる。
- ワクチンがあり、現在は予防接種が勧奨されている。
- 特別な治療法はなく、対症療法が行われる。



【感染経路】

- 空気感染。
- 患者の咳やくしゃみ、会話の時に発生するしぶき（飛まつ）に含まれるウイルスを吸い込むことによる「飛まつ感染」。
- ウイルスが付着した手で口や鼻に触れることによる「接触感染」。
- 感染力は極めて強く、感染した人の90%以上が発症する。

【潜伏期間・症状】

- 潜伏期間は10～12日。
- 38℃程度の発熱及びかぜ症状が2～4日続き、その後39℃以上の高熱とともに発疹が出現。この他、咳、鼻水、目の充血などの症状も見られる。肺炎や脳炎などの合併症を発症することもある。合併症がなければ、主な症状は7～10日で回復。

【予防対策】 ワクチンの接種

ワクチン接種で免疫をあらかじめ獲得しておく。
2回の予防接種で防げる病気。

